

# 一般社団法人

Japanese Society for  
Information and Systems in Education

# 教育システム情報学会 ニュース・レター No.250



一般社団法人  
教育システム情報学会

発行日 2024年7月11日

発行所

一般社団法人

教育システム情報学会

発行者 小松川 浩

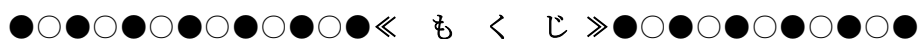
〒162-0801

東京都新宿区山吹町358番地5

アカデミーセンター

URL <https://www.jsise.org>

E-MAIL [secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)



第49回 全国大会のご案内・・・・・・・・・・2	研究会報告年間購読案内・・・・・・・・・・17
全国大会プレカンファレンス・・・・・・・・・・5	関東支部活動報告・・・・・・・・・・18
新電子投稿システム稼働・・・・・・・・・・6	広報からのお知らせ・・・・・・・・・・20
科研費申請支援についてのご案内・・・・・・・・・・7	他団体 協賛・後援イベントのお知らせ・・22
合同英文誌 ITEL 論文募集・・・・・・・・・・9	国際会議のご案内・・・・・・・・・・23
「ラーニングイノベーションングランプリ 2024」一次審査結果・・・・・・・・・・11	会費納入のお願い・・・・・・・・・・24
「産学連携奨励賞」受賞研究・・・・・・・・・・13	事務局より・・・・・・・・・・26
学会設立50周年記念シンポジウム開催・・14	会員専用ページの案内,
倫理綱領制定のお知らせ・・・・・・・・・・15	入会のご案内,
第1回 研究会開催報告・・・・・・・・・・16	新入会員のご紹介





## 第 49 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

テーマ：教育システム情報学の今 ～JSiSE 創立 50 周年記念大会～

<https://taikai2024.jsise.org/>

- 開催日時： 2024 年 8 月 27 日(火) ～ 8 月 29 日(木)
- 会 場： 明海大学 浦安キャンパス（対面形式で実施）  
\*一部企画（50 周年シンポジウム、連携企画）のみオンライン参加可能の予定
- 主 催： 一般社団法人教育システム情報学会

### ■ 全国大会の実施方法について

第 49 回全国大会は、対面形式にて実施いたします。一部の企画（50 周年記念シンポジウム、連携企画を予定）のみ、オンラインでもご参加いただける予定です。その他のプレカンファレンス、一般・企画セッション、インタラクティブセッション、学生研究特別セッション等については、現地での対面参加のみ可能です。オンラインでもご参加いただける企画の詳細につきましては、決まり次第、大会 Web サイト等でアナウンスいたします。

### ■ 大会日程（予定）

8 月 27 日（火）	
午前	プレカンファレンス
午後	オープニング(会場校), 50 周年記念シンポジウム
8 月 28 日（水）	
午前	一般・企画セッション
午後	各種表彰, 連携企画, インタラクティブセッション・学生研究特別セッション, 懇親会
8 月 29 日（木）	
午前	一般・企画セッション, インタラクティブセッション
午後	一般・企画セッション, クロージング

(\*) 大会日程は変更される可能性があります。

■ 交通アクセスについて

<https://www.meikai.ac.jp/access/>

新浦安駅から徒歩約 8 分

■ 大会までのスケジュール

参加申込を開始しました。発表者は必ず 7 月 4 日（木）までに参加申込を行う必要がありますので、ご注意ください。

- 2024 年 6 月 6 日(木) 参加申込開始
- 2024 年 7 月 4 日(木) [発表者] 参加申込締切
- 2024 年 7 月 30 日(火) [発表者以外] 前期参加申込締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2024 年 8 月 6 日(火) 参加費納入締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2024 年 8 月 29 日(木) [発表者以外] 後期・当日参加申込締切(クレジットカード)

■ 大会参加費

前期参加申込（発表者 7/4 まで，発表者以外 7/30 まで）	後期・当日参加申込（8/29 まで）
一般会員： 7,500 円 学生会員： 3,200 円 非会員（学生以外）： 10,800 円 非会員（学生）： 5,400 円 論文掲載料： 1,000 円（論文一編につき）	一般会員： 8,500 円 学生会員： 4,000 円 非会員（学生以外）： 12,000 円 非会員（学生）： 6,500 円
※全国大会当日，またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は，会員料金でお申し込みいただけます。	
[懇親会費]	
一般会員： 8,000 円 学生会員： 4,000 円	非会員（学生以外）： 8,000 円 非会員（学生）： 4,000 円

事前参加申込以降の申込は後期・当日参加申込の金額が適用されます。後期・当日参加申込はクレジットカードのみ対応しますのでご注意ください。

Web 論文集公開日との兼ね合いによりお支払い後のキャンセルは 8 月 18 日(日)までとなりますのでご了承ください。(8 月 19 日(月)以降に新規お申し込みされた場合は返金には応じられません。)

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は，大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンスの参加は自由です。これのみに参加する場合は，大会参加登録，および参加費の支払いは不要です。

50 周年記念シンポジウムは一般公開です。Zoom 配信も予定しています。シンポジウム参加希望の方は事前に参加申込をしてください（全国大会の参加登録とは異なります）。本シンポジウムの参加申込に係る費用は無料となっており，大会の参加有無に関わらず申込みいただけます。詳細は大会 Web サイトをご確認ください。

■ プログラム

プログラムは変更される可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ 50 周年記念シンポジウム

AI との共生社会に求められる学びと教育を描く

～人と機械の学習の対比からの検討～

○ プレカンファレンス

PC1 エージェンシー育成のための社会情動的スキルワークショップ

：NVC(非暴力コミュニケーション)編

PC2 WebAPI 活用ハンズオンワークショップ

PC3 我々にとっての教育システム情報学マップ

～問いの体系化の試みとその共有～

PC4 反転が生み出す論文執筆のブレークスルー

ーディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー

○ 企画セッション

1. エージェンシー育成のための社会情動的スキルに関する研究
2. 高度な対話による先進的な教育・学習システム
3. 医療者教育における新技術活用
4. 学習・教育支援における生成 AI の利用可能性と課題
5. 教育 DX と実世界指向学習環境

■ 講演論文集について

第 45 回大会より CD-ROM での配布を廃止し、Web による配布のみとしております。Web 版の講演論文集は、2024 年 8 月 19 日(月)に大会参加者のみに公開され、2025 年 3 月 3 日(月)に一般公開されます。

■ 協賛金のお願ひ

大会運営のための諸費用として使用させていただく協賛金を募集しております。ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。詳細は大会 Web サイトをご確認ください。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会

E-mail : [jsise-desk@conf.bunken.co.jp](mailto:jsise-desk@conf.bunken.co.jp) (@を半角に変更してください)



## 全国大会プレカンファレンス 反転が生み出す論文執筆のブレークスルー ーディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー

担当者： 学会誌編集委員会

開催日時：2024年8月27日（火）大会1日目 9:00～11:50

オーガナイザ：松浦健二（徳島大学）、後藤田中（香川大学）、高木正則（電気通信大学）、  
近藤伸彦（東京都立大学）、山元翔（近畿大学）、林佑樹（大阪公立大学）、  
山崎治（千葉工業大学）、油谷知岐（香川大学）、吉原和明（近畿大学）

申込締め切り：2024年8月5日（月）

論文の投稿や査読について、お悩みや不安、疑問はないでしょうか？本学会の論文カテゴリは「一般論文」、「実践論文」、「ショートノート」、「実践速報」の4つです。たとえば、「論文を投稿したいがカテゴリの違いが判然としない」、「実践論文が満たさなければならない基準って何だろう？」、「研究を進める上でのポイント・ヒントを知りたい」、「査読における考え方を整理したい」など、投稿や査読に関するあらゆるお悩み・不安について、編集委員と参加者が知恵を出し合う対話を通して論文投稿のブレークスルーを見出します。

本セッションは、Webサイト「採録論文・受賞論文ハイライト」の活用方法と「反転+ディスカッションベース」の論文投稿の相談会の2部構成です。セッション前半では、2020年の学会誌から掲載している、論文の「問い」や「面白さ」を著者が分かりやすく紹介する「採録論文/受賞論文ハイライト」に関する取り組みや、「採録論文/受賞論文ハイライト」を掲載しているWebサイト (<https://scrapbox.io/jsise-rq/>) を紹介し、研究テーマを検討したり、論文投稿に向けて研究を整理したりする際に本サイトを活用する方法について説明する予定です。

セッション後半では、これまでもご好評いただいている、論文投稿に関わる相談会を“反転+ディスカッション”ベースで実施いたします。これは、論文執筆に関わるチュートリアル動画コンテンツを事前に視聴していただいた上で、相談者に発表スライドを作成いただき、本セッション中に論文投稿に向けたご相談や議論を行っております。論文の投稿について、お悩みや不安、疑問がある方など、ご相談を希望される方（Advisee）は、下記の手順で申し込みをお願いします。ご応募お待ちしております。

1. 【事前】 次のURLから応募ください（<https://forms.gle/GjJrmZuP8F5gS7QdA>）
2. 【事前】 締め切り後にお知らせするチュートリアルを閲覧
3. 【当日】 投稿予定の研究や執筆上の懸案等を発表
4. 【事後】 論文投稿（可能であれば）

※ 希望者多数の場合は学会誌編集委員会で選定します。選定後、相談の参考にさせていただくため、事前に発表スライド等の資料の提出をお願いしております。

問い合わせ先： 高木正則（電気通信大学） [takagi-m@uec.ac.jp](mailto:takagi-m@uec.ac.jp)



## 新電子投稿システムの稼働について

担当者： 学会誌編集委員会委員長 松浦 健二（徳島大学）

学会誌編集委員会では、電子投稿システム（論文投稿・査読管理システム）を新しくすべく、準備を進めて参りました。このたび、2024年6月18日(火)に、新電子投稿システムが稼働しました。

新電子投稿システム：

[https://iap-jp.org/jsise/journal\\_3/login](https://iap-jp.org/jsise/journal_3/login)

参考：旧電子投稿システム（※）：

<https://bunken.org/jsise/journal/applicant/login.html>

※ 現在こちらでの、新規投稿は停止しています。

なお、2024年度特集号（延長後2024年6月17日〆切）を含め、旧電子投稿システムで受け付けた論文審査は、審査終了まで旧電子投稿システム上での取り扱いとなります。

新しい電子投稿システムでの会員の皆様からのご投稿お待ちしております。



## 科研費申請支援制度（2024 年度夏期）のご案内

担当者： JSiSE 人材育成委員会

教育システム情報学会では、次代を担う若手研究者の自立、研究活動の活性化を積極的に支援することを主旨として、科研費申請支援制度を実施しています。本学会の理事等を中心に、当該分野の科研費審査や獲得経験を有する複数のシニア研究者（匿名）が、提出された申請書に対して、主張点や論旨の明確化、焦点化など、審査員に上手に伝えアピールする視点から、採択に向けたコメントを書面で提供するものです。申請書評価の多様な見方に触れて頂くためにも、学会としてまとめることはせずコメントータからのコメントをそのまま提供します。これらを参考材料として申請者ご自身の判断の下で取捨選択しての申請書のブラッシュアップに役立てて頂く主旨のものです。学会およびコメント提供者は申請内容について守秘義務を負うものとします。なお学会およびコメント提供者は採択に関する責任を負うことはできませんので、予めご承知おきください。

本制度は若手研究・基盤研究（C）および研究活動スタート支援を支援対象とします。主として以下の分野を対象にしますが、JSiSE が学際的な領域を対象にしていることから、他の分野でもできるだけ柔軟にお受けしたいと考えていますので、下記問い合わせ先までご相談ください。

・夏期支援種目：

- ・若手研究
- ・基盤研究(C)（ただし、若手研究の応募資格を有する方に限る）  
(研究活動スタート支援は春期の支援を予定しています。)

・分野：

- ・「大区分A」「中区分9：教育学およびその関連分野」
  - ・09070 教育工学関連
  - ・09080 科学教育関連
- ・「大区分J」「中区分62：応用情報学およびその関連分野」
  - ・62030 学習支援システム関連

- ・申請者は学会員であることが必要です。

スケジュールは以下の通りです。ご所属機関により提出時期が異なることを踏まえ、提出期間に幅を持たせています。

○エントリー

若手研究および基盤研究（C）：7月20日より

下記提出先まで電子メールにて、 代表者氏名(所属)・タイトル・応募種目・分野(大区分、小区分)をお知らせください。

サブジェクトは「JSiSE 科研費申請支援」を含む文字列でお願いします。

※エントリーがなくても申請は随時受付いたしますが、事前にエントリー頂ければコメントータに書類を迅速にお送りできますので、結果の返送も早くなります。

#### ○申請書提出

若手研究および基盤研究 (C) : 7月下旬 ~ 申請者所属機関の申請書類締め切りの2週間前まで  
申請書のファイル (MS-Word または PDF 形式) を下記提出先までお送りください (予算明細などの詳細まで埋めていただく必要はありませんが、よりよいコメントを提供するために、ある程度内容が固まってからご提出いただくのが望ましいと思われます)。提出いただき次第、コメントータに申請書を送付します。

#### ○コメントのお返し

**【各コメントータから提出があり次第、随時コメントをお返します。】**

事前エントリーがあった場合申請書提出から1週間前後、ない場合10日前後の返信を予定しておりますが、事情により遅れる可能性もございますので余裕をもってお申込みください。

エントリー、申請書提出およびお問い合わせ先

JSiSE 人材育成委員会 (jsise-y-support@googlegroups.com)





## Information and Technology in Education and Learning (ITEL)

論文募集 [ <https://www.j-itel.org> ]

日本教育工学会（JSET）との合同英文誌 ITEL（Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>）への掲載原稿を募集しています。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/list/-char/ja>)。投稿後、原則、7 か月以内に 2 回の査読が終了するように配慮しています。短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。学位取得を目指されている方や留学生のみなさんからのご投稿もお待ちしております。

- 論文種別： 一般論文（Regular Paper, 基本 8 ページ）, 実践論文（Practice Paper, 基本 8 ページ）, システム開発論文（Development Paper, 基本 8 ページ）, ショート論文（Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで）  
<これまでのショートノート（Short Note）と実践速報（Report on Practice）を含みます>
- 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
- 投稿要件：
  - 論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
  - 投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
- 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領（Author Guidelines）等がアップされています。
- 投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] [https://iap-jp.org/j-itel/journal\\_e/](https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/) >
  - ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行ってください。
  - 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行ってください。
  - 投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出してください。
  - 投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正（Proofreading）を受け、証明書提出を推奨しています。
- 査読方法：

- 投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
- 査読者は2名で、査読回数は2回となります（著者照会は1回のみ）。
- 評価項目は、Originality（新規性）、Usefulness（有用性）、Reliability（信頼性）、Presentation（明瞭性）の4項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
- 投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。

最新号目次

Information and Technology in Education and Learning (ITEL) Vol.4, No.1 2024

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/>

Short Paper	The Effectiveness of Situational Confirmation in Remote Verbal Communication Kaito Takashima, Yuki Yamada
Translation	The Effect of Proactive Behavior on Competence Improvement in a Workplace through Reflection: A Focus on Young Workers in the 20s Satoshi Tanaka, Megumi Ikeda, Ryohei Ikejiri, Tomoyuki Suzuki, Kaede Kido, Yusuke Tsuchiya, Ryo Imai, Yuhei Yamauchi

(2024年6月20日現在の情報です。準備ができたものから公開していきます。)



## 「ラーニングイノベーショングランプリ 2024」一次審査結果

教育システム情報学会 産学連携委員会 委員長 長谷川 忍

教育システム情報学会が共催している産学連携イベントであるラーニングイノベーショングランプリの一次審査応募受付が、5月15日（水）午前11:59に締め切られ、日本全国の高等教育機関の研究室から32件の応募がございました。一次審査の結果は、5月29日（水）に公式サイトにて発表されました。受賞者は7月1日（月）に同サイトにて発表されております。

受賞者プレゼンテーション・表彰式が、7月17日（水）に東京国際フォーラムでおこなわれます。ぜひこの機会にご参加ください。

### 【一次審査通過チーム】

- ・ 勉強方法へのこだわりを共感で緩和するロボットインタラクションシナリオデザイン  
柏原研究室ロボットチーム / 電気通信大学
- ・ 学びの振り返りのテキストデータを用いたコンピテンシー・リフレクションシステムの開発  
森本研究室 / 東京学芸大学
- ・ ハイブリッド講義受講者間のコミュニケーションを促す遠隔操作ロボットの検証  
【JSiSE 推薦】 柏原研究室 eDX チーム / 電気通信大学
- ・ 「データ駆動型探究活動」に導く統計分析 Web アプリケーションの開発  
Dit-Lab. / 大分県立大分舞鶴高等学校
- ・ New Design in Game and Visualization Approach for Physics Formula Learning  
JAIST HASEGAWA LAB NEW GAME APPROACH TEAM / Japan Advanced Institute of Science and Technology
- ・ ESD に関わる能力が学生の情報システム開発 PBL のスクラム活動に与える影響の調査  
【JSiSE 推薦】 山川研究室 / 公立千歳科学技術大学
- ・ 家族（親子）で楽しく学ぶ睡眠教育のための協力型育成ゲームの研究開発  
Japan and Sleep, Unlimited / 龍谷大学及び滋賀県立大学
- ・ 対話型言語モデルを用いたピア・エージェント・チュータリングによるフローチャート学習環境  
長谷川研究室\_プログラミング学習支援 G / 北陸先端科学技術大学院大学
- ・ 非漢字圏学習者向け六書による AR イメージ漢字学習 UX デザイン  
谷田貝研究室 AR 漢字学習班 / 共立女子大学大学院
- ・ 動画生成 AI を用いたスキル習得支援法  
後藤田研究室 / 香川大学
- ・ 医学系対訳コーパスを使用した英語学習 Web アプリケーション - 学習者のスキル向上を指向した機能拡張 -  
【JSiSE 推薦】 静岡大学情報学部 宮崎研・チーム医学英語学習支援 / 静岡大学

- ・ 論理型プログラミングの学習を目指したタンジブルなツールの試作と評価

【JSiSE 推薦】 TPU Team Logi-CUBE / 富山県立大学大学院

#### 【スケジュール】

5月15日(水)：応募受付締め切り(午前11:59締め切り)

一次審査応募作品一覧：<https://ligp.gingerapp.co.jp/category/first-works-2024/>

5月29日(水)：公式サイトで一次審査結果発表

5月29日(水)～6月13日(木)：一次通過者動画制作期間

二次審査応募作品一覧：<https://ligp.gingerapp.co.jp/category/second-works-2024/>

7月1日(月)：公式サイトで受賞者発表

7月17日(水)：受賞者プレゼンテーション・表彰式(会場：東京国際フォーラム)

#### 【運営体制】

主催：一般社団法人ラーニングイノベーションコンソシアム(LIC)

共催：教育システム情報学会(JSiSE)、特定非営利活動法人デジタルラーニング・コンソーシアム(DLC)

協賛：日本情報科教育学会、日本教育工学会、人工知能学会、情報処理学会 CLE 研究会、電子情報通信学会教育工学研究会、学習分析学会

協力：ジンジャーアップ(公式サイト)

運営：ラーニングイノベーショングランプリ実行委員会

プラチナスポンサー：ジンジャーアップ

ネーミングライツスポンサー：イーラーニング、サイコム・ブレインズ、UMU テクノロジーズジャパン



## 「2024 年度教育システム情報学会産学連携奨励賞」受賞研究

教育システム情報学会 産学連携委員会 委員長 長谷川 忍

教育システム情報学会産学連携委員会は、本学会の学生研究発表会における発表の中で、学術的な観点のみならず、産業的な観点からも、その研究開発および実践内容の、社会発展への寄与や産学連携への潜在性を含む将来への期待を改めて評価し、奨励することを目的とした「産学連携奨励賞」の表彰をおこなっています。今年度は、2023 年度学生研究発表会受賞者リスト ([https://www.jsise.org/society\\_research/presentation/](https://www.jsise.org/society_research/presentation/)) に掲載されている 24 件が選考対象になり、以下の 5 件が受賞となりました。

■ 富山県立大学情報工学部 データサイエンス学科 知能情報学講座【北信越地区】  
論理型プログラミングの学習を目指したタンジブルなツールの試作と評価  
[https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2023/12/2023\\_hokushinetsu\\_a02.pdf](https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2023/12/2023_hokushinetsu_a02.pdf)

■ 電気通信大学 柏原研究室【関東地区】  
遠隔操作ロボットによるハイブリッド議論への効果分析  
[https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2023/12/2023\\_kantou\\_a04.pdf](https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2023/12/2023_kantou_a04.pdf)

■ 電気通信大学 宇都雅輝 研究室【関東地区】  
問題と模範解答を同時に生成する難易度調整機能付き読解問題自動生成手法  
[https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2023/12/2023\\_kantou\\_a02.pdf](https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2023/12/2023_kantou_a02.pdf)

■ 静岡大学 静岡大学 教育・数値システム研究室（宮崎佳典研究室）【東海地区】  
医学系対訳コーパスを使用した英語学習 Web アプリケーション-学習者のスキル向上を指向した機能拡張-  
[https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2024/02/2023\\_tokai\\_all.pdf](https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2024/02/2023_tokai_all.pdf)

■ 公立千歳科学技術大学 山川研究室【北海道地区】  
ESD に関わる能力が学生の情報システム開発 PBL のスクラム活動に与える影響の調査  
[https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2023/12/2023\\_hokkaido\\_a02.pdf](https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2023/12/2023_hokkaido_a02.pdf)

選考の対象単位は、選考された発表を行った著者の所属する高等教育機関の研究室単位（もしくは複数研究室にまたがる場合にはプロジェクト/チーム単位）です。上記の受賞研究には、ラーニングイノベーションランプリ 2024（LIGP2024）の二次選考シード権が副賞として与えられました。

「ラーニングイノベーションランプリ 2024」

公式ウェブサイト：<http://ligp.gingerapp.co.jp/>



## 学会設立 50 周年記念事業 公開シンポジウム開催

担当者： 50 周年記念事業特別委員会

学会設立 50 周年記念事業として、2024 年度全国大会の初日にシンポジウム

### 「AI との共生社会に求められる学びと教育を描く～人と機械の学習の対比からの検討～」

を開催いたします。こちらのシンポジウムは一般公開とし、ZOOM での配信も予定しています。参加形態に関わらず、事前に下記 URL から**事前参加申込**をお願いいたします。

開催日時：8 月 27 日（火）13:30～16:30（全国大会 1 日目）

場所：明海大学浦安キャンパス講義棟（ZOOM での配信も予定）

事前参加申込：

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdtS5kM7R7Xa8IlyROrGnwCsX9kalEDonK9xJEQgzLKFGDNLw/viewform>

AI との共生が進もうとしている現在の知識社会にあって、ChatGPT をはじめとする生成 AI は、様々な分野において人間のタスクを代替する機械学習基盤のツールとして注目を集めている。学習・教育支援の分野も例外ではない。「人の学びや教育のあり方を根底から考え直さなければならない」と思わせるほどのインパクトをもって受け止められるように見える。特に、生成 AI は問題や課題を「解く（解を得る）」上で非常に有用であり、また教材を作成する面でも役立つ可能性を有している。今後、その利用は当該分野で強く推進されていくことが予想され、学習の局面局面で問題解決の代替ツールとして用いられるだろう。

一方、人の学びでは解くことだけではなく、「わかる」ことや「わかる過程」が極めて重要である。つまり、問題や課題が対象とする世界がわかること、または解やその根拠がわかることは問題解決の前提となるものであり、人の学びの本質ともいえる。しかしながら、教育でも「わかる」ことの支援は難題の一つであり、生成 AI のような技術でどの程度支援可能かは不透明である。

本シンポジウムでは、AI における技術的進展を踏まえた上で、AI 時代における人の学びや教育はどうあるべきか、AI 技術をどう使うべきかについて議論したい。具体的には、人の学習と機械の学習を対比させながら、「人の学びはどう変わるのか?」、「学びにとって普遍的に重要なことは何か?」、「教育はどう変わるべきか?」、「AI を学びにどう活かすのか?」、「教育者は何を教えるべきか?」といった問いを掲げ、今後の学びと教育のあり方を描いてみたい。

#### 【パネリスト】

- ・ AI 研究者：栗原聡先生（慶應義塾大学）
- ・ 認知科学者：白水始先生（国立教育政策研究所）
- ・ JSiSE：平嶋宗先生（広島大学）
- ・ 教育関連：堀田龍也先生（東京学芸大学）

#### 【コーディネータ】

柏原昭博（電気通信大学）



## 倫理綱領制定のお知らせ

会長：小松川 浩

この度、倫理綱領検討委員会において検討を重ねてまいりました倫理綱領が、理事・社員・支部長等の確認を経て、6月22日に行われた社員総会において正式に承認され、制定されましたことをご報告いたします。詳細は以下のURLよりご覧ください。

<https://www.jsise.org/about/rinri/>

また、2024年10月発行の学会誌にて解説記事を掲載する予定です。こちらも併せてご確認いただければ幸いです。



## 2024 年度 第 1 回研究会 開催報告

担当者： 大河雄一，加藤泰久，近藤伸彦，杳木佐知子，  
真嶋由貴恵，東本崇仁，森本容介（研究会委員会）

テーマ： DX・AI 時代の学習環境，リスクリング／ヘルスケア分野の DX 人材育成／一般  
開催日時： 2024 年 5 月 18 日（土）10:45～15:30  
開催場所： 千葉工業大学津田沼キャンパス  
発表件数： 15 件

今年度の第 1 回研究会は、「DX・AI 時代の学習環境，リスクリング／ヘルスケア分野の DX 人材育成／一般」をテーマに、千葉工業大学津田沼キャンパスで開催いたしました。授業の実践、教材やシステムの開発、学習者のつまずきの分析、学習手法の提案など、多様なテーマで 15 件の研究発表が行われました。第 1 回研究会は、5 年ぶりに対面参加だけの開催にいたしました。休憩時間や閉会後も発表内容に関する議論が行われる様子が散見され、現地開催の利点を再確認できました。参加登録いただいた方は 48 名でした。研究発表のタイトルは、以下の通りです。

- 商業高校における企業経営を疑似体験できる RPG 型ケーススタディ教材による授業実践事例の考察
- 小・中・高の家庭科の授業に特化した献立作成学習アプリの開発
- 薬剤師調剤業務における援助要請訓練教材の評価実験結果
- 浮力の複数誤概念解消を目的とした基本概念教示による学習手法の開発と評価
- 探究学習における「問い」の生成支援を目的としたデータ分類方法の検討
- 幼児ワークブックの内容と難易度の操作が課題への取り組みに与える影響
- 誤りの可視化システムにおけるもっともらしさ向上を指向した学習者の解答と可視化の対応を促す手法の提案
- プログラミングの文章問題における問題解決過程に沿った学習支援システムの開発
- 英語長文読解における学習者モデリングのための意味構造の再構成型学習環境における分析
- フォースプレートデータを基準とした歩行動作におけるかかと接地検出アルゴリズムの基礎的検討  
ー加速度センサで計測した鉛直方向加速度データを用いた推定ー
- 部活動における Open Pose の活用可能性 ～指導者とのイメージ共有に着目した予備的研究～
- 学習支援システムアーキテクチャ ELECOA における学習状態更新処理の通信回数削減
- 理工系大学院生を対象とした開講科目において対面講義からオンライン講義への移行による影響の評価
- 生成 AI を用いた「教えることで学ぶ」学び方の開発
- 文系大学のデータサイエンス教育における学習者特性





## 研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000円（定例研究会年6回，特集研究会1回，計7回分を含む）
- ・当日販売:1冊1,000円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をいただいている方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望

会員番号（お分かりであれば）：

お名前：

所属：

連絡先eメールアドレス：

=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

## 関東支部より活動報告

担当者： 関東支部 支部長 山本 樹（文部科学省 / ※前 明海大学）

教育システム情報学会関東支部の2024年度支部総会を、2024年5月24日（土）にオンラインで開催いたしました。支部総会の出席者13名と委任状101名、計114名により総会が成立致しましたことをご報告いたします。議事として以下の事項について提案し、ご承認いただきました。

### 1. 支部役員の構成

本年度の支部役員および運営委員の構成は、以下の通りです。

支部長：山本 樹（文部科学省）  
副支部長：大河 雄一（東北大学）  
辻 靖彦（放送大学）  
幹事：小島 一晃（帝京大学）  
東本 崇仁（千葉工業大学）

運営委員：

総務担当：佐々木 整（拓殖大学）  
財務担当：山崎 治（千葉工業大学）  
企画担当：小島 一晃（帝京大学）※兼務  
広報担当：東本 崇仁（千葉工業大学）※兼務

植野 真臣（電気通信大学）	田和辻可昌（早稲田大学）
宇都 雅輝（電気通信大学）	中嶋 竜一（株式会社デジタル・ナレッジ）
柏原 昭博（電気通信大学）	根本 淳子（明治学院大学）
加藤 泰久（東京通信大学）	長谷川 理（武蔵野大学）
國宗 永佳（千葉工業大学）	松居 辰則（早稲田大学）
近藤 伸彦（東京都立大学）	松下孝太郎（東京情報大学）
高木 正則（電気通信大学）	三石 大（東北大学）
高橋 暁子（千葉工業大学）	渡辺 博芳（電気通信大学）

顧問：仲林 清（千歳科学技術大学）

2. 2023年度の活動報告・2024年度の活動予定

3. 2023年度の決算報告・2024年度の前算計画

本年度も、2024年11月頃に産業・学術・教育実践の3分野連携による新たな学びの共創を目指したイベント「リサーチ・コ・コ・コモンズ」を東京近郊で開催する予定です。また、2025年3月上旬頃に学

生研究発表会の開催も予定されています（運営協力）。なお、学生研究発表会は、関東近郊にて合宿形式での開催を予定しております。開催の際には、支部会員の皆さまのご協力、および、ご参加いただけましたら幸いです。

#### 4. その他

今後は支部活性化のための人的基盤の構築と広報を行うことをより一層重点化したいと考えております。

今後も支部会員ならびに学会員の皆さまより、本支部の活動へのお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

以上

## 広報からのお知らせ



### 学会ロゴリニューアルのお知らせ



## 一般社団法人 教育システム情報学会

学会設立 50 周年を記念し、このたび学会ロゴをリニューアルいたしました。

JSiSE の文字をモチーフに、情報システムに関する学術的情報が活発に交換され広くネットワークが構築されていくこと、それにより情報システムの可能性が無限に広がっていくこと、知識や技能を次の世代へ伝えていくという教育のイメージを表現したロゴマークです。ロゴの中にどのように「JSiSE」の文字が含まれているのかお探してください。

今後、Web サイトをはじめ各種媒体で新しいロゴに置きかわります。なお、会員の皆様による新しいロゴの使用については、現在事務局と広報委員会で使用規定を作成していますので、改めてのご案内をお待ちください。

また、旧ロゴの制作者をご存じの方は、学会事務局にご一報いただければ幸いです。  
新しいロゴをどうぞよろしくお願いたします。



## ニュースレター発行回数変更のお知らせ

2024年度より、ニュースレターの発行は年4回となります。研究会の開催時期と異なるため、今後は、年間スケジュールおよび開催報告のみの掲載となります。開催案内と講演募集につきましては、学会 Web サイトでご確認ください。



## X (Twitter) アカウントの紹介

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 X (Twitter) アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局 ([secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)) へお願いします。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2024年6月25日現在、フォロワー数 280 アカウント



## Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会の公式 Facebook ページを運用しています。本ページでは、論文・発表募集や本学会に関連するイベントの情報などをお届けしています。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2024年6月25日現在、いいね 618 件、670 人フォロー

X (Twitter)、Facebook への情報掲載の依頼などは学会事務局 ([secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)) までお問い合わせください。



## 他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

後援：「第 35 回全国高等専門学校プログラミングコンテスト」

日時：2024 年 10 月 19 日（土）～20 日（日） 本選

会場：なら 100 年会館

協賛：「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2024」

日時：2024 年 9 月 18 日（水）～ 20 日（金）

会場：京都大学 吉田キャンパス

協賛：「第 26 回日本感性工学会大会」

日時：2024 年 9 月 12 日（木）～ 14 日（土）

会場：タワーホール船堀

協賛：「情報教育シンポジウム SSS2024」

日時：2024 年 8 月 10 日（土）～ 12 日（月・祝）

会場：ライトキューブ宇都宮

協賛：「日本情報科教育学会 第 17 回全国大会」

日時：2024 年 7 月 6 日（土）～ 7 日（日）

会場：武蔵野大学 有明キャンパス

後援：「令和 6 年度日本情報オリンピック」

日時：2024 年 7 月～2025 年 3 月

会場：オンライン開催



## 国際会議のご案内

- 2024年7月開催

AIED 2024: 25th International Conference on Artificial Intelligence in Education

開催期間: July 8-12, 2024

開催地: RECIFE, BRAZIL

URL: <https://aied2024.cesar.school/>

EDM 2024: Educational Data Mining 2024

開催期間: July 14-17, 2024

開催地: Atlanta, Georgia, USA

URL: <https://educationaldatamining.org/edm2024/>

- 2024年11月開催

ICCE 2024: The 32nd International Conference on Computers in Education

開催期間: November 25-29, 2024

開催地: MANILA, PHILIPPINES

URL: <https://icce2024.ateneo.edu/>



## 会費納入のお願い

学会の運営は皆様の年会費で支えられております。今年度の年会費が未納の方はご入金をお願いいたします。なお、10月以降に年会費が未納の場合、学会誌の送付が一時休止されます。入金確認後、入金日の翌月末までに今年度内の未送付分も合わせて学会誌の送付を再開いたします。3月末までに入金を確認できない場合は、未送付分の学会誌はお送りできなくなりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

### ■振込先

#### ◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

#### ◆三菱UFJ銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

#### ◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。  
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。



## 【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター  
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : [secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)



事務局より



## 会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 ([secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 ([secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしく願い申し上げます。



## 入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

### ☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、  
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。  
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



## 新入会員のご紹介

下記の63名の皆様が新しく入会されました。(2024年3月22日～2024年6月20日)

本学会での益々のご活躍を期待しております！

会員名	会員種別	会員名	会員種別
小張 敬之	正会員	松崎 剛	賛助会員からの正会員
林 雅子	正会員	青木 泰子	賛助会員からの正会員
小倉 浩	正会員(購読)	石川 泰正	正会員
劉 玲伶	正会員(購読)	高野 泰臣	賛助会員からの正会員
門松 怜史	正会員	磯本 昇汰	賛助会員からの正会員
栗林 利昭	学生会員	和久井 優大	学生会員
加納 久子	正会員	宝本 真凜	学生会員
江添 光城	学生会員(購読)	尾崎 祐真	学生会員
田中 理恵子	正会員(購読)	矢部 広樹	正会員
赤間 祐也	正会員(初中等)	久乗 皓大	学生会員
丸田 和弘	賛助会員からの正会員	栗田 一真	学生会員
辻村 実央	学生会員	平田 光紀	学生会員
奥 典宏	正会員(購読)	吉川 遼	正会員
永井 敦	学生会員	辻岡 和孝	正会員
本多 俊一	正会員(購読)	河野 聡太	学生会員
伊藤 梨乃	正会員	植田 昭夫	学生会員(購読)
柳澤 一機	正会員	春田 大河	正会員(購読)
榎原 勝己	正会員	角田 悠翔	学生会員
若林 遥大	学生会員	李 泰煥	学生会員
山口 大成	学生会員	笹木 悠聖	学生会員
奈田 青葉	学生会員	植垣 新一	学生会員
岸本 蒼唯	学生会員	石川 文弥	学生会員
堀 真寿美	賛助会員からの正会員	吉田 喬亮	学生会員
小野 成志	賛助会員からの正会員	山川 智也	学生会員
塚田 亮一	賛助会員からの正会員	小笹 滯	学生会員
植田 厚志	賛助会員からの正会員	安田 陸	学生会員
山本 知仁	正会員	北海道コンテンツソリューション(株)	賛助会員
小山 慎哉	正会員	(特非)コンソシアム TIES	賛助会員
宮崎 貴大	正会員	アシアル株式会社	賛助会員
前田 新太郎	学生会員	株式会社イーラーニング*	賛助会員
門池 勇樹	学生会員	株式会社インフラット*	賛助会員
仲山 輝	学生会員		